

# 新年記念俳句会優秀作品

平成二十三年 二月七日

## 「梅の花」

天

君が香と ふと立ちどまる 梅の花

来 峻（佐藤栄祐）

地

父形見 寒紅梅が 凜と咲き

彦<sup>げん</sup> 山<sup>ざん</sup>（馬場信彦）

人

老木の 命輝け 梅の花

土 來（広岡豊樹）

佳作

早朝の 朝日に映える 梅の花

茶 奉 人（星野健司）

うす紅を 集めて散りし 梅の花

爽 木（佐々木常行）

老幹に ひと足早い 梅の花

爽 木

（さくらより ひと足早い 梅の花）

父植えし 紅梅蕾みて 春を待つ

吉 祥 老（渡邊久晃）

（父植えし 紅梅の蕾 春を待つ）

紅梅に 季節はずれの 雪が降る

天 楽（嘉瀬 修）

梅の花 その喜びを 待ちこがれ

土 來（広岡豊樹）

白梅（しろうめ）の 実を大籠に 満たしけり

土 來

（白梅の 実を大籠に 満たしたり）

越後地に 訪れ早し 梅の花

茶 奉 人（星野健司）

（越後の地 春の訪れ 梅の花）

雪かぶる 梅は下から つぼみけり

喜 江 子（葦澤喜一郎）

（雪かぶる 下からつぼむ 梅の花）

春待ちて 梅も子供も 雪の中

範 夫（坂井範夫）

（春待つも 梅と子供は 雪の中）

寒空に 春が来たよと 梅の花

宅 秀（佐藤秀夫）

風にめげず 春告げて咲く 梅一輪

宅 秀

（寒風に 春告げて咲く 梅一輪）

梅の花 咲き競いあう 紅と白

彦 山（馬場信彦）

（紅と白 咲き競いあうや 梅の花）

早よ咲けよ 部屋のぬくもり 梅の花

武 醉（鈴木 武）

（早や咲けよ 部屋のぬくもり 梅の花）

# 「父の日」

天

父の日に 空を見あげる 肩車

颯サシ子シ（熊倉高志）

地

父の日に 老いた親父と 麦酒飲む

征夫（丸山征夫）

人

思い出の 掛軸掛ける 父の日に

喜江子（葦澤喜一郎）

（思い出す 掛軸掛ける 父の日に）

佳作

父の日と 誰も気づかず 妻に告ぐ

爽木（佐々木常行）

（父の日を 誰も気づかず 自ら言う）

父の日の おもいを今も ひきずって

来峻（佐藤栄祐）

父の日や ありし日の身を 思い出す

秀夫（大溪秀夫）

（父の日に ありし日我身 思い出す）

# 「のっぺ汁」

天

子等帰り 妻と二人の のっぺ汁

一陽（田中悌司）

地

我が家の これが味だよ のっぺ汁

範夫（坂井範夫）

人

のっぺ汁 味見してよと 妻奮闘

宅秀（佐藤秀夫）

佳作

東京の 子が来て母の のっぺ汁

天楽（嘉瀬 修）

里帰り 我が子迎える のっぺ汁

茶奉人（星野健司）

大阪の 息子夫婦に のっぺ汁

征夫（丸山征夫）

正月の 母思い出す のっぺ汁

喜江子（葦澤喜一郎）

（お正月 母を思い出す のっぺ汁）

今日はまた 何を祝うか のつぺ汁  
のつぺ汁 母の匂いを 懐かしむ  
ふる里に 帰り来し子に のつぺ汁  
代々の 味と具がある のつぺ汁

来 峻（佐藤栄祐）  
秀 夫（大溪秀夫）  
彦 呉（鈴木圀彦）  
範 夫（坂井範夫）

## 「水引草」

天 透きとほる 風の軽さや 水引草

彦 呉（鈴木圀彦）

地 晴れの日 は めでたく映る 水引草

捨 石（荒澤威彦）

人 ままごとの 子らの茶碗に 水引草

颯 子（熊倉高志）

## 佳作

水引草 赤と白との 表裏

武 酔（鈴木 武）

幼くて あの水引の 名を知らず

土 來（広岡豊樹）

水引草 露のしづくが ぼとり落ち

征 夫（丸山征夫）

凜として 茶室に銀の 水引草

一 陽（田中悌司）

（凜として 茶室に君臨 水引草）

水引草 活けて拡がる ほこりに

吉祥老（渡邊久晃）

（水引草 活けて拡がる 花空間）

## 「大花火」

天 大花火 還暦胸に 奮い立つ

秀 夫（大溪秀夫）

地 クレパスを 散らし震わす 大花火

武 酔（鈴木 武）

人

大花火 路地の狭間に 零（こぼ）れ散る

吉祥老（渡邊久晃）

# 佳作

手をたたき 花火に染まる 妻の顔  
遠くまで 空気ゆらぐよ 大花火  
(遠い空 ゆらぐ空気で 大花火)

彦 山 (馬場信彦)  
捨 石 (荒澤威彦)

プロポーズ 泣き顔照らす 大花火  
あらためて 空の広さを 大花火  
(あらためて 空の広さよ 大花火)

天 楽 (嘉瀬 修)  
彦 呉 (鈴木圀彦)

つなぐ手に 力湧きけり 大花火  
(つなぐ手に ひときわ力の 大花火)

一 陽 (田中悌司)  
颯 子 (熊倉高志)

閑けさを 破りて空の 大花火  
(閑けさを 破りて空に 大花火)

# 選者吟

看 かん

雲 うん

(武藤昭三先生)

ビール缶 ぱしつと開けし 大花火

峠越ゆ 水引草の 花に露

のっぺ汁 地産地消の 旬揃ひ

